



暑さを吹き飛ばし！！

納涼会開催



8月6日(土)16時～19時

サンパルネ コンベンションホール

3月11日の東日本大震災のあと、自粛ムードが高まり、東村山稲門会もお花見会を中止したり、同好会も行事を自粛して支援活動を行ってきました。しかし、あまり自粛・自粛で内向きになっても日本経済に良い影響を与えないとの認識も高まってきており、被災者の方を思いながらも楽しい納涼会を行うことにいたしました。是非多数の会員（ご家族も大歓迎）の方のご参加をお願いいたします。

日時 8月6日(土) 16時～19時

場所 東村山駅・サンパルネ・コンベンションホール

会費 3,000円（同伴者も同額）

当日は東村山市在住の本年度早稲田大学に入学した学生並びに早稲田祭実行委員会の現役学生も招待しております。

詳細は同封の案内書をご参照ください。

会からのお知らせ

○ 平成23年8月 定例役員会

日時 平成23年8月6日(土) 13:00～15:00
場所 サンパルネ・コンベンションホール
(16時より納涼会)

○ 他稲門会等の関係

* 小平稲門会伊藤会長受章

小平稲門会の伊藤順蔵会長（早稲田大学名誉教授）は2011年度春の叙勲受章者として「瑞宝中綬章」を受章なされました。心からお祝いを申し上げます。

○ 大学関係行事

* 商議員会 7月9日(土) 14時～16時20分 小野・山下・小亀 出席予定

☆ 校友会事務局長に友金孝夫氏が就任

6月1日付人事異動で藤井公博校友会事務局長が法学部事務長に転任し、新たに友金孝夫氏が校友会課長（校友会事務局長）に就任しました。

☆ ソマリアから初の留学生

戦争状態の続くソマリアから父を亡くした兄妹が早大国際教養学部の入試に合格し、9月から留学する。兄のアブラディラマンさんは「平和学を学んで将来は大統領になりたい」、妹のサラミさんは「日本を相手にビジネスをし、ソマリア経済を発展させたい」と祖国への思いを語った。ソマリアからの早大への留学は初めて。

○ 2011年稲門祭 10月16日（日）に開催

稲門祭は、早稲田大学の校友会主催、早稲田大学公認の、校友のための年一度の祭典です。ホームカミングデイ記念式典に引き続き開催されます。この日は、第一線で活躍する校友による音楽祭、トークショーなど、さまざまな企画が準備されています。

同時に稲門祭は、後輩である現役学生への支援の機会でもあり、稲門祭記念品販売の収益は「稲門祭奨学金」として、在学生に給付されますが（昨年度は33名の奨学生が誕生）、今年は未曾有の東日本大震災により被災された学生へも、可能な限りの支援を行う予定です。

この稲門祭記念品には、高級乗用車・海外旅行・テレビなどの豪華景品が当たる福引券が付いており、皆さんが楽しみにしておられます。我が東村山稲門会では、過去2回、高級乗用車が当たっています。「二度あることは三度ある」といわれます。今年は、あなたの番かも…… 皆様の温かいご支援、ご協力をお願いいたします。（記念品のパンフは、『稲門会ニュース7月号』と一緒にお届けします。）

記念品ご購入のかたは、大内（393-6543）、高橋正夫（309-3407）、高鷲（394-2336）までご連絡ください。



アラブ首長国連邦「ドバイ」めぐりと仰天日誌

山下 邦康（S36教育）

近年、観光旅行に縁遠くなっていたのでアフリカにでもと、年初に思いついた。

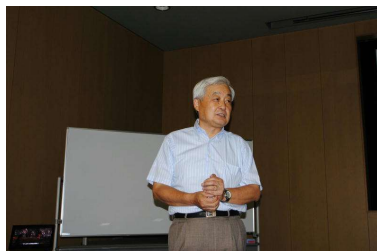
30年前のエジプト訪問が最初ゆえ、アフリカ大陸なんぞ私にとってはおよそ無縁の存在、「アラブ首長国連邦」ドバイはアフリカ北東にありホルムズ海峡からインド洋に出る手前に位置する。皆さんご存じの「石油成金」国であるし、ドバイショックでも一躍その名を世界に知らしめた。私のドバイに対する知識は、「油」以外は何もない国、砂漠と駱駝の国、最近ヤタラ金の力で近代的高層ビルを建てている国、何のために？誰のために？といった貧しい知識しかなかった。

「ドバイめぐり」私の仰天はまずエミレーツ航空で現地ドバイ空港に着いた時から始まった。その空港の大きいこと、広いこと。GATE数は全部で700番台迄、ターミナルは第3迄で珍しくはないがN01は欧米専用、N02アフリカ、N03アジアだそうだ。

現在の700 GATE数では足りず、近くに第二空港を建設中と云っていた。かつて上海や仁川空港の大きさにも当時驚いたものだが、ドバイ飛行場となると問題にならない。成田なんぞは比較さえできない。しかも空港が深夜まで搭乗客で満杯である。この疑問を関係者に聞いてみた。「ドバイは現在はアフリカの出入口になっています」「昔はカイロでした、ここは大陸の玄関口ですよ」との返事。

街に出ると高速道路は渋滞、モノレールは混雑、ビルは林立し何処かの国と見間違ふほど、それに「日本の高級車」が圧倒的に多いのが嬉しかった。あとはベンツだ。ドバイの人口構成は現地人はわずか3割だ。あとは欧米人とインド人で占めている。サウジや周辺国と違い王族国家ではないが、首長集合制だが貧富の差は相当大きいらしい。せっかくだからヘリに乗って上空から世界の富豪「ビル・ゲイツ」「マイケル・ジャクソン」とやらの別荘を眼下に見た。海岸を「リーフ状」に埋立、その下に地下鉄を建設中と云うから自然破壊だ！あきれ果てたもの。地下鉄も建設中断の高層ビル群も日本のゼネコンがかなり関わっているが千億単位の債権でも決してアタフタしないというから日本も大したものだ。ドバイに限るが「油」が出ている限り時間がかかっても回収に問題はないらしい。

「私の仰天 その二」のご紹介だ。一言でいうなら「ドバイ」は物価が高い！飛行機代からホテル代まで普通感覚では通用し難いものと所がある。例えばアラブ首長国連邦の「エミレーツ」航空は搭乗券の他に個室料2人120万円、ヨットの帆を形どったホテル宿泊代 ダブル190万円（一泊最低）！こんな金を払う奴が世界の何処かにいるかと思うと腹が立つ！私はこれらのいずれも辞退し身分相応の旅をして無事帰国しました。初めての方は個人で行かないで、ツアーで行けばもっと安くてよい旅行ができますヨ。



「新しい時代の流れを造る新技術 有機EL入門」

講師 當摩 照夫氏 (S45理工)

現代はデジタル技術を駆使した情報化社会あるいはIT社会であると良く言われる。私達の身の回りにはTV・新聞・雑誌のみならず、パソコンや携帯端末を通じて、情報が押しよせる。特に、最近登場したスマートフォンやタブレット型端末(i-PAD等)によって、いつでも、どこでもウェブに繋いで世界中から情報が取れるし、世界に向けて情報発信が可能となった。

スマートフォンは数年前の登場以来瞬く間に普及し、日本でも現時点で、スマートフォンの新規登録台数が普通の携帯を上回っている。その多機能化、高性能化で、特に若い世代には、もはや手放せない存在らしい。日常の生活や仕事のあらゆる場面で活躍している。新幹線や地下鉄の中でさえ、大きなi-PADを操作している人をよく見かける。

このように常に持ち歩いて、どんな時にもどんな所でも使いたいとなると、今の携帯機器、言わんやノートパソコンは重くてかさばる。もっと軽くて薄くて、できれば丸めたり、折りたたんだりして、鞆に入れても身につけていても気にならないような、そんな携帯端末はできないものか。

翻って私達の生活用品は、ありとあらゆるものがプラスチックで作られるようになった。ちょっと身の回りを眺めてみても、鉄などの金属もガラスも陶器も、軽くて結構頑丈で、カラフルで、いろいろな形状にできて、しかも安く作れるプラスチックに置き換えられてきた。現代のあらゆる産業を支えている、シリコンで代表される半導体産業も例外ではない。シリコントランジスタやLSI、そして今話題沸騰のLED等の世界に、いよいよプラスチック材料で作られたエレクトロニクス素子が仲間入りをしようとしている。実は有機ELはその実用化第1弾なのである。

プラスチックはご存じの通り、石油などを原料とする有機化学工業で、人工的に、大量に作られる。トランジスタや発光素子(LED)、そしてメモリーや太陽電池など、シリコンなどの半導体で実用化されてきた数々の機能を、人工で作られたプラスチック材料で、少しずつではあるが実現しようとしているのである。プラスチック化されることにより、薄く軽く、また丸めたりのフレキシブルも将来は実現できるようになり、性能的にはシリコンに及ばないとしても、私達の身の回りに広く、深く浸透していくものと思われる。

有機ELは、プラスチックと同類の人工材料を、ごく薄い膜にしていくつか積層し、プラスとマイナスの電極の間に挟んだ構造を持つ。両方の電極を電源につないで電流を流せば、光を放つ。電極間に挟む材料を代えれば、発光色が変わる。いわゆる光の3原色、赤、青、緑も材料の変更で発光させることができて、これらを重ねて混ぜれば照明ランプ用の白色発光が得られる。また。赤青緑を細かく縦横に並べて、それぞれの発光を別々に制御してやれば、フルカラーの自発光型ディスプレイも実現出来る。

有機ELは1987年、米コダック社の発表で始まった。ディスプレイへの応用は私が所属していた東北パイオニアで、1997年に世界で初めて実現し、パイオニアのカーステレオに搭載された。以来、高精細フルカラーパネルが多数開発され、小型TVや携帯電話の表示部に盛んに使われている。有機EL照明もLEDの向こうを張って、着々と実用化が進んでいる。

私は、1993年にパイオニアの研究部長として有機ELに出会い、魅せられた。薄膜面発光という全く新しいデバイスであり、しかも有機材料を用いる。新しい歴史を作ると直感した。以来、有機ELとその発展であるプラスチック・エレクトロニクスを追いかける毎日であるが、有機ELのお陰で世界各地に仲間ができて、この歳になっても刺激的な仕事に関わることができている。本当に幸せ者だと思う。現在はこの分野は韓国の後塵を拝しているが、少しでも挽回に貢献できるよう、微力ながら努力を続けていきたいと思っている。

「有機ELウィドウ」

當摩 彰子

夫が有機ELの仕事に携わって何年になるのでしょうか。有機ELなる新技術を、「素性が良い」との言葉で表現した夫は、同時に「俺は有機ELに全てをかけるぞ」とも言い切りました。そして、その通りの人生を歩んでいます。2000年、SIDと言う国際学会で賞をいただく夫に同行し、米国のロングビーチで、世界の様々な所から来られた方々とお話を交わした頃は、まだまだあまり知られていなかった技術も、今ではずいぶん取り上げられことが増えました。

夫はこれからもきっとこの技術にかけ続け、私の「有機ELウィドウ」も続くことでしょう。

俳壇

復興のままならぬまま夏蒲団 高部 糸行
 蟻塚が陥没せぬかと孫の問う 戸田 梟
 立葵下から順に咲き上る 内藤 慎
 ドクダミや日陰の似合う白十字
 蟻道を辿りて歩む稻荷塚 丸本 北窓
 五月雨や溪流激しく岩を打つ
 少なき菌またも抜かれて梅雨明くる 八木 竜湖
 五月雨や品定めの人今は亡き 雲の影天に水張る棚田かな 栗島 三郎
 したきこと指をり数へ明やすき
 蟻の道避けて帚目立ててをり 梅雨入りや花傘目立つ学生街 井垣 稻雀
 蟻塚をホースの水で崩す罪 泳ぎ切る蟻一匹や 瀟 出田 麦穂
 早苗田のきらめく水や風わたる 空と地に恐ろしきもの梅雨に入る 風間 和夫
 大蟻の行方気になる園児達 水音も土産の一つ夏料理 菊田 一平
 抱卵の翼入れ替へ軒燕 倒壊の屋根に雀の巢のあらは 幸田 瑞雄
 目医者出て潤む街の灯さみだるる 両子寺明王五月雨睨み居り(国東にて) 小亀 稻生
 墓碑名の薄きお墓に薔薇の花 蟻穴を避け公園の太極拳 小永井 哲哉
 試歩の児に枇杷の色づく遊歩道 蟻たちのために石佛笑み給う

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407

暑い季節に向かいますが、ゆっくりペースで近郊の良さを再発見したいと思います。ご都合のつくかたは当日、お気軽のご参加ください。

「展望抜群の荒幡富士と緑豊かなトトロの森」

日時 : 7月24日(日曜日)

集合場所と時間 : 東村山駅所沢方面ホーム中ほどに9時半までに集合
(9時33分の電車に乗る予定です)

コース : 下山口駅→荒幡富士→鳩峰公園→トトロの森→久米八幡宮→將軍塚
→長久寺→所沢駅 (約6キロ)

12時少し前に所沢駅に着く予定です。駅付近で昼食、解散自由としたいとおもいます。
雨天の場合は中止の予定ですが当日、8時までに高橋宛ご確認ください。



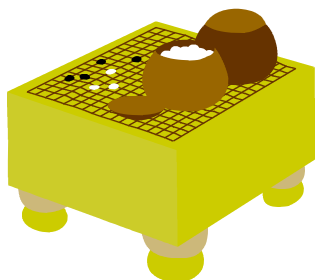
第25回ウォーキング記(5月22日)

うす曇のもと、仏子駅から緑濃い木立の中の加治丘陵をたどり、桜山展望台で快晴の富士山や奥秩父などの連山の展望を想像し、そのあと、禅宗式の庭園が見事な豊泉寺に立ち寄り、そこから関東一とも言われる狭山茶の広大な茶畑のなかを歩いて、茶業公園で昼時、弁当を空けるとにわかに天候が悪化して篠つくような雨になってしまいました。ほうほうの体で帰路を急ぐうちに雨は小止みになり、仏子駅に着くころには止んでいました。

約10キロ弱の長い行程でしたが全員無事に完歩しました。
参加者：阿部・飯塚・市川・滝川(桜)・滝来夫妻・高橋・土橋・豊田・町田・山本・吉田夫妻(敬称略)

囲碁同好会

世話人 福田 晃 近 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336



●「第11回オール早稲田囲碁祭」が、6月4日（土）、囲碁の総本山日本棋院で開催されました。この囲碁祭は、年に1回行われる、首都圏の各稲門会対抗の団体戦です（1チーム5名）。AクラスからFクラスの6階級で争われます。今年は、団体戦に48チーム258名、個人戦（級位者のみ）に22名が参加し、それぞれ熱い戦いが展開されました。

○わが東村山稲門会は、福田晃（主将）・鈴木（副将）・高鷲（三将）・野村（四将）・江藤（五将）が出場し、Cクラス（8チーム）で見事三位（銅メダル）を獲得しました。中でも、福田・野村さんが3勝1敗と健闘し、また江藤さんが貴重な2勝をあげ、団体戦の勝利に大きく貢献しました。皆さん、お疲れ様でした！

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934

2011年前期ゴルフコンペ(第29回)報告

延期されておりました、第29回東村山稲門会ゴルフコンペが、前日の雨も降り止んだ6月10日（金）に、ホームコースの西武園ゴルフ場で、17名の参加を得て賑やかに開催されました。

8時前には全員集合し、ミーティングルームでモーニングコーヒーを飲みながらスタート前の競技内容説明を聞いた後8時35分から①登藤央子、吉田誠子、紅松容子、内藤愼、②山室勲、津野慶浩、青山稔、石川武、③鍋島高明、益田昂、田島隆夫、④高部素行、相馬信一、堀田秀夫、⑤滝来洋二、山本岩男、井垣和太、の5組が順次スタート。

競技は18ホールストロークプレー、順位は新ペリア方式でおこなわれ、輝く優勝杯は相馬信一さんが獲得。「7年ぶりの思いがけない優勝でしたが、1番ロングホールが9。途中もトリプル、ダブルパーと万事休すと思っていたのが、ことごとく隠しホールだったと言う幸運に恵まれました。」と謙虚な優勝者の弁。グロス92も立派な成績でした。

準優勝は当会の実力NO. 1プレーヤーの堀田秀夫さん。アウト38、イン41のスコア79は文句なしのベストグロス。

表彰式を兼ねたパーティーでは、堀田先生のシニアゴルファーへの貴重な秘策の伝授も受け（参加者だけへの特別賞でナイショ。）大盛会のうちにお開きとなりました。今回初参加の登藤さん、滝来さん、山本さん、お楽しみいただけたでしょうか。

次回秋の大会当日幹事は優勝の相馬さんとブービー賞の青山さんです、よろしく。

なお、世話人グループも新たに石川さんと青山さんに加わって頂くことになり、心強い限りとなりました。どうぞよろしく。

園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033



前回は5月11日に春蒔き草花の苗の交換会を行いました。今年の春は寒い日が多い不順続きでした。そのせいか、発育不足の苗も多く見られましたが、そこは腕と熱意で大きく育てようと、マリーゴールド、サルビア、アスター、ジニア、トレニア、千日紅、ペチニア、ひまわり、アサガオ、さらにキュウリ、ミニトマト、シシトリーなど、たくさんの苗を各自、交換して持ち帰りました。今頃は開花が始まっていることでしょう。

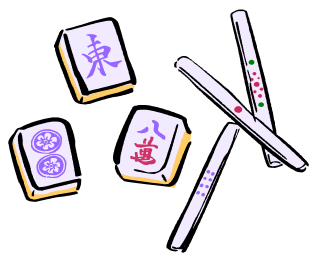
次回の園芸の会は、下記の日程で、1月に球根を交換した、サギ草の開花株を持ち寄って品評会を行います。多くの方の参加を期待しております。

日時 平成23年8月19日（金） 午後3時～5時

場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松 永 常 尚 332-5621



3月27日に開催予定しておりました第53回大会は、改めて去る6月19日(日) 国分寺の「三千院」にて、12名で開催しました。今回は青木さん(国分寺稲門会)のサポートを受け、又初参加の石塚さんも加わり、無事3卓でゲームを進行することが出来ました。

先ず去る5月9日に逝去された朝木吾朗雀士の霊に黙禱し、その後ゲームを開始しました。

松永雀士は6月8日に入院されましたが、術後の経過が良好とのことで、18日に抜糸後退院された旨、報告いたしました。小亀会長より満貫賞としてたくさんの板チョコレートの差し入れもあり、賑やかな雰囲気の中で勝負に入りましたが、小亀会長の4連覇だけは阻止しようと雀士全員が思っていました。

成績結果は番場さんが勝ち点32にて目出度く優勝を果たされ、準優勝は勝ち点32で三宅さん、3位は土橋さんでした。初参加の石塚さんがツモリ四暗刻の役満で上がり、役満賞を獲得しました。ゲーム終了後の懇親会は「丸藤」で行い、松永さんが入院前に作成された得点表に従って、賞金が手渡されました。

2回目の会場でしたが、スムーズな進行で終了し、世話人として安堵致しました。松永さん、色々なご配慮有難うございました。

当日の参加者は、青木(国分寺)、赤荻、阿部、石塚、小野、小亀、佐野、田口、土橋、中川、番場、三宅の各氏でした。

次回は9月を予定していますが、日時と場所は未定です。

(小野 記)

カラオケ同好会

世話人 内 藤 慎 TEL 393-5071



6月例会は6月11日開催。井垣、井手、石坂、高部、高鷲、南湖、内藤の各氏7名。蒸し暑い夜でしたが全員の熱気は更に高まり楽しい一夜でした。

さて当会のイベントの一つの新宿への移動カラオケを次の要領で行います。

7月15日(金) スナック92 17時より20時 貸切

[芽ぐみ]が新規に発展改名して営業中 会費6,000円

1年振りの一夜を大いに楽しみましょう。

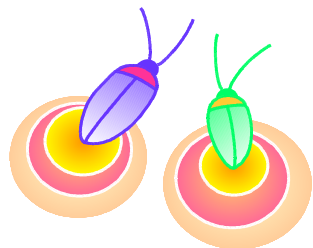
準備もありますので7月9日まで幹事まで連絡願います。

〈今後の予定〉

8月6日(土) 19:00 カラオケランド ズー

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井 垣 和 太 TEL 04-2924-2934



第56回「稲酔」会俳句会は6月25日(土)、午後2時から、久米川駅傍の「丸藤」で開催されました。

参加者は、栗島三郎、井垣稲雀、出田麦穂、風間和夫、幸田瑞雄、小亀稲生(数年ぶりの復帰)、小永井哲哉、高部糸行(滑り込み参加)、内藤慎、丸本北窓、の10名と投句参加の戸田梶、八木竜湖の2名。

兼題「蟻」を含む59句の力作を前に、3時間半の充実した勉強が繰り上げられました。

特筆すべきは、兼題「蟻」を詠み込んだ句が参加者の予想を上回る23句もあり、普段如何に身近に接している生き物であるかをあらためて知ったことでした。

参加10名の互選の結果、最高句には

朝日さす茄子の小首が母に似て 竜湖

が、選ばれました。

句会後の懇談会にも参加者の10名全員が参加し、3時間以上も俳句談義に花が咲き、麦穂さんの健康指導を含めて脳味噌のリフレッシュも図れた楽しい句会の日を送りました。

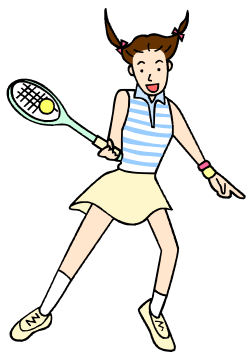
次回は、8月27日(土)午後2時から、「丸藤」2階で開催致します。

兼題は「新涼」(初涼、涼新た、秋涼し、秋涼)です。

(稲雀 記)

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



6月の例会は、6月19日（日）、9時から11時まで運動公園のCコートで行いました。曇りでしたが蒸し暑く、運動するとかなりの汗が出ました。参加者は、小菅、滝来（京）、當間、戸田の各氏と田島の5名でした。

肩痛を押して参加の戸田さんと連日のハードスケジュールをこなしてお疲れの當間さんが健闘しました。

（今後の予定）

7月17日（日）	9時～11時	久米川コート	3番
（予備日 7月25日（月）	9時～11時	久米川コート	5番）
8月28日（日）	9時～11時	運動公園 Aコート	
（予備日なし）			



「非科学的な話あれこれ」

福田 晃（S38教育）

誰もが見る夢の世界は、睡眠中における非現実的な錯覚または幻覚だという。夢は五臓の疲労によるといわれ、個人差があると思うが、決してその夢の世界が現実の世界と結びつくとは、誰も考えもしない。

しかし、私は夢と現実が重なる事があり、前日に見た夢が朝になって新聞やテレビニュースで報じられ、異様な気持ちになる事がある。まさしく正夢で、科学的に立証できる話でもないのに、家内以外に話した事はない。

東京にいる私のところへ、沖縄から兄が亡くなったとの知らせがあった時の事である。

その前日の夢は、今まで兄の夢はあまり見たこともないのに、真っ暗な闇の中に何故か兄が一人で机にうつ伏せになって動かないのである。何となく胸騒ぎがしていたら、朝に悲しい知らせがあった。

私は、昭和32年以来、東京で生活しているが、久しぶりに郷里の沖縄に帰省し、田舎の母と二人で床を並べて寝ていた時の話である。

沖縄には、南国特有の熱帯植物が繁茂し、なかでもガジュマルの木は蔓や枝を交えて独特な姿をしている。日中は木陰になって南国の暑い日差しからまもってくれる。母の屋敷近くにも、この木があった。

このガジュマルの木には、木の精（沖縄の方言でキジャムナー）が宿ると、小さい頃から聞かされていた。勿論、現実的に存在するものでもないし、その姿を見たこともなければ、どんな容（かたち）をしているかも分からない。

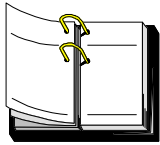
ところが、夢の中ではソフトボールくらいの大きさで、目はキョロキョロとしていて、ウニのような真っ黒い針だらけの真ん丸い姿をして現れた。入口の戸の隙間から入ってきて、私の上にちょこんと乗った途端、私は身動きが出来なくなった。しばらくもがいているうちに目が覚め、夢である事に気付いた。それから、そう時間がたたないうちに、また同じ仕種が繰り返され、金縛り状態になってしまった。うなされている私に、母がびっくりして起こしてくれた。勿論、私はこれまで金縛り状態になった事は一度も経験がない。気味が悪かったので、塩を枕元にまいて寝たのを、今でも鮮明に覚えている。キジャムナーはいたずら好きと聞いていたので、久しぶりで帰郷した私に、いたずらっぽい行為をしたのであろうか。

その後、数年たって、絵本に私が見た夢とそっくりのキジャムナーが、沖縄の木の精として載っているのに驚いたものである。

先日、魚を釣る夢を見てしまった。この年になってまさかと思ったが、案の定、風邪をひいてしまった。

不思議な事に、私は魚が泳いでいたり、特に大きな魚を釣る夢を見ると100%風邪をひく前兆がある。40年間、高校の教師を勤めていたころは、本当に魚の夢を見ると即座に市販の風邪薬を飲み、予防に努めたこともあった。

夢と肉体、頭脳との科学的なつながりを立証することは不可能かも知れないが、私の夢の話も、また事実なのである。



今月の行事（7月）

- 9日（土） 7月度役員会
7・8月度合同お誕生会
15日（金） カラオケ同好会
17日（日） テニス同好会
23日（土） 音楽同好会
24日（日） ウォーキングの会

8月の予定

- 6日（土） 8月度役員会
納涼会
カラオケ同好会
19日（金） 園芸の会
27日（土） 俳句同好会
28日（日） テニス同好会



東日本大震災被災者支援

5月末現在 41名の会員の皆様から90万円の支援頂く

この度の大震災では、各稲門会でも色々な取り組みを行っていますが、東村山稲門会では稲門会として「早稲田大学校友会 東北地方太平洋沖地震救援基金」に10万円の寄付をし、会員の皆様には学生支援として「サポーターズ倶楽部」に支援を呼びかけさせて頂きましたが、5月末現在41名の方から90万円の支援を頂きました。（6月に入ってから何人かの方から支援を頂いております）心から感謝申し上げます。なお、4・5月にご協力頂きました方の氏名は7月号の「早稲田学報」に氏名が掲載されます。6・7月分は9月に掲載される予定です。

大学では災害救助法指定学費減免対象地域在住校友18,150人にお見舞状ならびに被災状況を調査し、現在5,316通の返信があり、2,511通の集計が終わっており、その結果は次の通りとなっています。

本人逝去 4名 （逝去年月日・原因不明のもの2名含む）
家屋全壊 41名
家屋半壊 57名
一部損壊 1,830名

学生については調査中ですが、幸い死亡者はいないようです。しかし実家が被災したり親が亡くなった学生はいるようです。

大学では学生については、被災状況により学費の免除の他最高100万円の奨学金の支給等の対応を考えているようです。

皆さんは色々なお立場ですでに多くのご支援をなさっていると思いますが、早稲田の卒業生として、金額はともかく一人でも多くの会員の皆様のご支援を頂ければ、校友や後輩学生達の励みにもなりますし、被災学生達に勉強を続けてもらうためにも是非ともご支援をお願い致します。お金のことでお願いをすることは忸怩たる気持ちもありますが、何とぞよろしくお願い致します。

（専用の振り込み用紙をお持ちでないか方は連絡頂ければ、お送り致します。394-6951小亀）

訃報

当会会員丸本聡明さん（S31政経）のご令室織繪殿（67才）には4月16日逝去なされました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

（なお、会則によりご香典を差し上げました。）

編集局だより

○次号の原稿締め切りは7月22日（金）です。よろしくお願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com